

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名

【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 II IV 】
2 実施対象者	学校名：石巻市立渡波中学校 対象学年：全校生徒 人 数：317名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (あすチャレ!スクール) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	パラスポーツを生で見たり体験したりすることで、障害についての理解を深めさせる。
5 取組内容	シドニーオリンピック車椅子バスケットボール日本代表キャプテンである根木慎志氏を招き、車椅子バスケの体験を行った。 (1) パラスポーツデモンストレーション パラアスリートのハイパフォーマンスを生で見ることで、迫力やスキルを肌で感じ、障害に対する意識の転換を図る。競技だけではなく、「応援」することに着目し、「応援」の意義、効果、力を実感させる。 (2) パラスポーツ体験 3年生の生徒と教員を中心にチームを作り、車椅子バスケの試合を行う。「楽しさ」や「難しさ」を頭で理解するだけでなく、体を使って理解する。 (3) 講師による講話 ・障害とは何か ・可能性に挑戦する勇氣 ・夢や目標をもつ力 ・自分自身にとっての明日への挑戦とは



<p>6 主な成果</p>	<p>実際にパラスポーツを体験したり、講話を聴いたりしたことで、障害についての理解を深め、生徒に夢や希望をもつことの大切さについて気付かせることができた。</p> <p>【生徒の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夢をもつことの大切さや、あきらめない気持ちを学ぶことができた。 ・障害があるのに、それを感じさせない明るさや前向きさを感じ、すごいと思った。 ・バスケがすごく上手で、そしてオリンピックにも出場しているなんて驚いた。 ・困っている人がいたら、進んで手を差し伸べていきたいと思った。 ・自分も持っている可能性を信じて、夢に向かって努力していこうと思った。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当として、事前勉強会に参加し、事業の内容を理解しようと努めた。 ・各学級で、事業の内容や意義について、担任の先生から話をしてもらい、生徒が目的をもって事業に参加することができるようにした。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前勉強会の内容を、先生方と共有することで、より共通理解が図られたと感じる。 ・道徳や学活などと連携させ、活動での成果を深められるような授業を展開することで、障害についての理解や夢や目標をもつことの必要性について、より理解が深まったのではないかと思う。
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>パラスポーツを実際に体験したり、障害をもつ人から話を聞いたりすることは、生徒にとって影響が大きいと感じる。機会があれば、今後も実施していきたい。</p>